

# 医労連速報 '14春闘

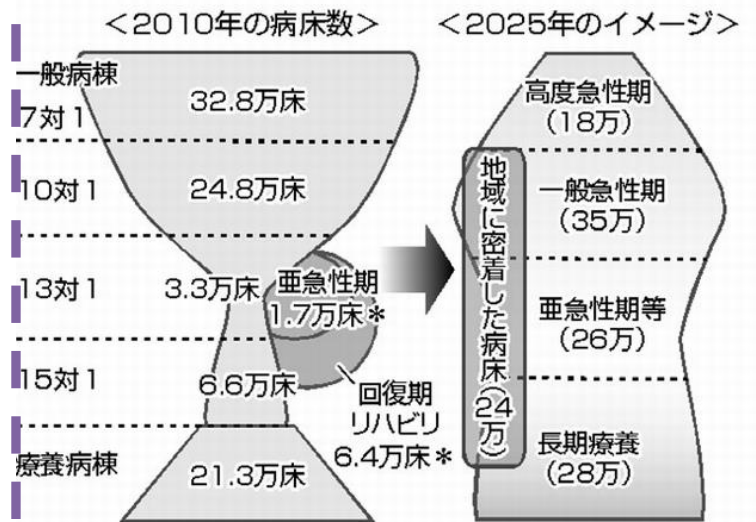
2014年2月25日 No15 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

## 一般病床削減をやめさせ 地域医療を守ろう!

2014年度の診療報酬の改定は、本体部分が0.73%引き上げる一方、薬価部分は0.63%引き下げ、全体で0.1%引き上げるとしてありますが、これには消費税増税の補填分として1.36%の引き上げ分が含まれているため実質的には引き下げとなります。6年ぶりの実質マイナス改定は、医療労働者の大幅引き上げ要求に背くものであり、「医療崩壊」にも拍車をかけるものです。今回の改定での基本的な方向性は、国民会議が打ち出した「医療から介護へ、入院・施設入所から在宅へ」、7:1病床の絞り込み・削減が最大の焦点になっています。

安倍政権は社会保障制度「改革」における「2025年モデル」の実現にむけ、その一環として、病床の「機能分化・強化・連携」を掲げています。今回の改定は、7:1一般病床を高度急性期の担い手として絞り込んでいくことです。これは、看護体制の厚い「急性期」病床を削減し、「亜急性期」病床を増やすということです。これが進められると、患者は医療を必要とする状態で早期退院や転院を迫られ、看護師がますます過密な労働を強いられることに繋がるものです。7:1体制でさえ、看護師は足りていません。病床あたりの看護師を減らすのではなく、むしろ充実すべきです。

### 病床の「機能分化」のイメージ



\*亜急性期、回復期リハビリの病床数については2012年7月現在 (厚労省資料から)

## 14春闘、潮目を変える大幅賃上げを!

ストライキ(争議)予告は2月28日(金)までに!